みさわがわ

三沢川

川沿いの桜並木と湧水

川崎市麻生区黒川に源を発し、稲城市の丘陵部の谷間を鶴川街道沿いに東流した後、再び川崎市に入り、二ヶ領上河原堰下流で多摩川に注ぐ全長約9.9km（うち東京都管理区間約6km）の河川です。

旧河川敷等を活用した散策路や緩傾斜護岸が整備されています。川沿いのサイクリングロードでは、約300本ものソメイヨシノ、ヤマザクラ、オオシマザクラ等を見ることができます。

● スタート
京王相模原線「稲城駅」
● ゴール
京王相模原線「京王よみうりランド駅」

距離：約3.5km　歩数：約5,000歩
所要時間：約53分
消費カロリー：約159kcal

❶三沢川分水路

三沢川の治水安全度向上と合わせて、多摩ニュータウン開発に伴う雨水流出対策のために整備した分水路。山岳部をトンネルで通過し、JR南武線多摩川鉄橋の上流側で多摩川に注いでいる。昭和58年完成。

❷三沢川の桜並木

❸三沢川親水公園

緩やかな斜面は芝生になっており、階段で河川敷に降りることができる。のんびりと水辺に親しめる憩いのスポット。

❹穴澤天神社

平安時代に創建されたと伝えられている古社。鎮守の杜から湧き出る水は「東京の名水57選」に選ばれており御神水として親しまれている。

❷いろは坂

大栗川の霞ヶ関橋から続くつづらおりの急坂で、坂の途中にある「いろは坂桜公園」からは聖蹟桜ヶ丘の街並みが一望できる。

❸金比羅宮

江戸時代の文政年間に建てられた神社。かつては多摩川や武蔵野台地が一望できたことから、砦があった場所とされており、近くに「天守台」（関戸城跡）の案内が建つ。

❶小野神社

都指定有形文化財（彫刻）の木造随身倚像（非公開）が安置されている。近くには多摩川の渡し場「一之宮の渡し」跡がある。

❹関戸古戦場跡

元弘3年（1333）に新田義貞軍と鎌倉幕府軍との間で繰り広げられた「関戸合戦」が行われた場所。この戦いで勝利した新田軍は、6日後に鎌倉を制圧し鎌倉幕府を滅亡させた。

おおぐりがわ

大栗川

川のせせらぎに耳をすませば

八王子市鑓水付近に源を発し、野猿街道に沿って西から東へ流れ、多摩市に入り同市連光寺付近で乞田川と合流し、多摩川に注ぐ全長約15kmの河川です。

多摩ニュータウン開発の宅地造成工事に先立って、河川整備が行われました。現在、老朽化したコンクリート護岸を緑化ブロックで再構築するとともに、遊歩道の整備によって環境や親水性に配慮した川づくりを行っています。川岸を散策する人、川のせせらぎをながめながらくつろぐ人など、訪れる人々の憩いの場になっています。

● スタート
多摩モノレール「大塚・帝京大学駅」、京王相模原線「京王堀之内駅」
● ゴール
京王線「聖蹟桜ヶ丘駅」

距離：約5.0km　歩数：約7,140歩
所要時間：約1時間15分
消費カロリー：約225kcal

大栗川の遊歩道

乞田川の親水テラス

❶多摩中央公園

多摩センター駅南側にある地域を代表する総合公園。広大な園内には、芝生広場、噴水池、温室をはじめ、明治天皇が行幸した際に御小休所として使用された旧富澤家古民家住宅など見所が多く点在。

❷乞田川桜並木

乞田川の多摩センターから下流、両岸3ｋｍにわたって500本以上の桜並木が続く。桜が川にせり出し、トンネルのように続く景観は圧巻。

❸霞ノ関南木戸柵跡（都指定史跡）

この地域の地名「関戸」の由来になった鎌倉時代に設置された関所の柵跡。この関所は鎌倉街道上にあり、乞田川、大栗川、多摩川にも近く防衛上の意義が強かったと考えられている。

こったがわ

乞田川

両岸に続く桜のアーチ

多摩市唐木田付近に源を発し、小田急多摩線に沿って流れた後、流向を北に変え、大栗川に合流する約4kmの河川です。大栗川と同様に、多摩ニュータウンの開発に伴い河川整備が行われました。現在は、植栽による緑化や遊歩道の整備など環境や親水性に配慮した川づくりを行っています。春になると、両岸からせり出すような枝ぶりの桜並木が人々を楽しませてくれます。

● スタート
京王相模原線、小田急多摩線「多摩センター駅」
● ゴール
京王線「聖蹟桜ヶ丘駅」

距離：約5.0km　歩数：約7,140歩
所要時間：約1時間15分
消費カロリー：約225kcal